



札幌だより

<http://www.sappororo.hokkaido-c.ed.jp>

学校通信 第13号

平成31年3月15日(2019年)発行

発行人 北海道札幌聾学校

校長 熊谷 英雄

TEL 011-716-2979 / FAX 011-758-7617

「札幌聾学校 愛!!!」

校長 熊谷 英雄

本日は3月5日です。本校は3月15日の金曜日に修了式、卒業式を迎えます。幼稚部修了生、小学部卒業生、中学部卒業生は節目の年を迎え、ひとつ上の心の成長と自立を目指し階段を上がります。どの子も可能性の塊であり、目がきらきらと輝き、未来をまっすぐに見つめる目に感動を覚えます。

私は、中学部3年生の武良君とよく話をします。

次の会話は今日の会話です。

校長「武良君、今日は楽しそうだね」

武良君「はい、楽しいです」

校長「毎日学校が楽しくて、まだ卒業したくないの？」

武良君「はい、ずっと学校にいたいです」

校長「じゃ、高聾に行くのを辞めて札幌にいたら」

武良君「う～ん。いや、高聾に行きます」

どうでしょうか。今日は公立高等学校の入試日です。私(校長)が卒業するとき、私は出身中学校を武良君のように愛していたのだろうかと考えます。答えは・・・です。

武良君に母校を大切に思う心を育てたのは、学校の先生、寄宿舎の先生、公務補さん、給食を作ってくれる方々、事務の皆さん、ボイラーの方など全ての職員の皆さんです。今年度の卒業生は武良君1名ですが、過去の卒業生も皆、札幌聾学校を愛していたと思います。全ての教職員の皆さんが子どもたちを愛し、いろいろ関わった結果が子どもたちに大きな愛を育てたんだと思います。

昨日、各グループの研究発表が学校でありました。その中で寄宿舎グループの発表者の原稿に次のフレーズがありました。「コミュニケーションをとる大切な時間は、特別な場面ではなく、生活の様々な瞬間であり日常の営みであることが分かりました。」あまりに

当たり前のフレーズですが、すごく新鮮に私の耳に入ってきました。コミュニケーションは何か身についてからできるものではなく、コミュニケーションを取りたくなる相手が日常的にいるかどうか大切な要素です。武良君の例から分かるように、本校にはその大切な要素が沢山あります(います)。これからも本校は心(愛)に根ざしたコミュニケーション力を基本に据え、学力向上を目指していきます。どうぞよろしくお願いします。

終わりにになりますが、今年度一年間、保護者の皆様をはじめ、関係機関や地域の皆様には、本校の教育活動に御協力、御支援いただき、本当にありがとうございました。

平成31年度

着任式・始業式・入学式について

(1) 実施日

平成31年4月8日(月)

(2) 日程

8:35～ 9:00 学級指導

9:10～ 9:50 着任式

始業式

10:00～10:50 入学式

11:00～11:40

学級・学年懇談・放課

(3) その他

▽児童生徒の登校時間は、転入生も含めて8時30分です。

また、幼児の登校時間は9時00分とします。

▽新入学生(幼3、小1、中1)の登校時間は9時30分とします。

▽新入生は、入学式終了後、直ちに中・小・幼の順で写真撮影を行います。

(文: 田中)

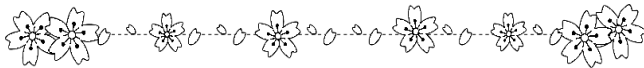
乳幼児相談室

「終了式・おわかれ会」

乳幼児相談室では、3月14日に終了式・おわかれ会を行いました。2歳の親子を拍手で迎え、その後、校長先生から「よいこのしるし」とプレゼントをもらいました。

ひよこ組さんは「むすんでひらいて」を、うさぎ組さんは劇遊び「大きなかぶ」を発表しました。「うんとこしょどっこいしょ」と声をそろえて、役になりきっていました。

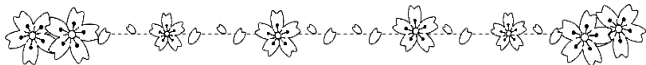
最後には、みんなで会食を行い楽しい時間を過ごしました。4月からは、聾学校の幼稚園や地域の幼稚園で、それぞれ楽しく元気いっぱい過ごすことができるように応援しています！！
(文：宮町)



幼稚園「おわかれ会」

幼稚園では、3月19日に修了式・おわかれ会を行います。今年度は、ゆり組6名の子どもたちが幼稚園を巣立ちます。3歳で入学したときの小さくかわいらしかった姿を思い出しながら、修了証書を立派に受け取る姿を見て、涙涙の修了式になりそうです。修了式が終わったあとは、おわかれ会があります。3歳児の器楽演奏、4歳児の劇発表、5歳児の思い出発表などをしてみんなで楽しく修了をお祝いします。

(文：小林)



寄宿舎「卒業を祝う会」

3月14日(木)寄宿舎で「卒業を祝う会」を行いました。

今年の卒業生は中3の生徒1名です。感謝を込めて在舎生3名が企画しました。サプライズケーキからはじまり、余興では卒業生に関する「クイズ」や「宝さがし」、担当室担からの「メッセージ」、在舎生と職員全員から「思い出のアルバム」の贈呈、卒業生からの「挨拶」と「自作のカレンダー」の贈呈と盛りだくさんの内容でした。

豪華な食事で楽しく会食し、今年度の成長を振り返りながら旅立ちを祝福しました。

(文：門田)



小学部「6年生を送る会」

2月28日に「6年生を送る会」を行いました。

今までお世話になった6年生に「楽しんでもらいたい。」という思いで、1～5年生は招待状、ステージ装飾、プレゼント、色紙、当日の司会などの準備を進めてきました。そして、当日は、学年やグループで発表をしたり、ゲームをしたりして楽しい時間を過ごしました。発表は、歌あり、長縄飛びあり、ダンスあり、クイズありでとても盛り上がりました。6年生は、「6年間の思い出や将来の夢」をスライドを使って伝えてくれました。そして、児童会長からは、「楽しい会を準備してくれてありがとう」「新一年生にも小学部のよさを伝えてください」などの言葉が伝えられました。

その後は、1年間をふり返るスライドをみながら、みんなで一緒に給食を食べ、最後まで笑顔でいっぱいの「送る会」となりました。6年生のみなさん、卒業おめでとう！下級生はみなさんのことが大好きでした！(文：久門)



中学部「卒業生を送る会」

12日の「卒業生を送る会」では、3年生の入場から始まり、1・2C、1AB、2Aの出しもの、ビンゴゲーム、3年生から一言、最後に生徒会長のあいさつで締めくくりました。C組の出しものは手品、1ABの出しものは思い出クイズ、2Aの出しものは粘土で作った物を当てるゲームを行いました。それぞれが工夫をこらした内容で3年生とともにみんなで大笑いして、大変盛り上がりました。

また、生徒会役員を中心に、全員で協力し、準備や後片付けを頑張りました。

3年生の武良君は在校生とともに楽しく過ごした思い出を胸に札幌聾学校を卒業します。将来の目標に向かって、これからも努力し続けていくことを期待しています。(文：辻田)